

金武町議会報



きんえん

第136号

発行：平成26年2月28日

均 霈



○懐かしい風景シリーズ

金武中学校（昭和55年）

主な内容

一般質問.....	2～10P
安富信武 / 池原政文 / 伊芸 孝 / 大城一之 / 外間慎仁	
仲間昌信 / 崎浜秀幸 / 嘉数義光 / 仲間政治	
平成25年第7回定例会議決結果	11P
その他・傍聴案内	12P

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp>

平成25年第7回 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



安富信武 議員

金武地区公園の遊具について

修復を早急にすべきでは

教育長 修繕できる箇所については早急に修繕を行う

安富議員 金武地区公園の遊具について、設備が老朽化し一部破損して使用不能の設備となっている。修復を早急にすべきと思うが。比嘉貴一教育長 金武地区公園の遊具および運動器具については、平成12年度に

と227号線の交差点が整備されていないため、見通しが悪く危険性を感じる。

近隣住民の要望は、まっすぐで安全な交差点にすることを。当局の見解は。

儀武剛町長 町道金武150号線は、町道金武227号線との取り付け部分が見

設置されたもので、経年による破損や劣化がある。修繕できる箇所については早急に修繕を行い、修繕できない箇所については取り替える。

安富議員 この周辺にあるスポーツ用ベンチプレスも破損している。この一帯の設備の充実を期待するが、当局の見解は。

教育長 運動器具の充実についても検討する。

道路の改修について

町道150号線と227号線の交差点は、危険性を感じるが

町長 通学路整備を目的に道路改修を計画している

安富議員 町道150号線

取り組んでいる。

當山記念館の活用について

當山記念館を修復し、文化財の価値を温存すべきでは

町長 教育委員会の要望や町民の意見等を踏まえ、総合的に判断

安富議員 設計変更を検討したか何う。

町長 庁舎増築については、現在、用地の造成設計を行っており、造成設計終了後、造成工事を行う予定です。建築設計については、今後調整していく。

安富議員 金武町は教育委員会を中心に、移民資料館建設の検討を20年以上続けていると答弁したが、9月議会後、検討したか。見通しはついたか。

町長 補助メニューの模索や、近隣市町村の博物館などの調査を行っている状況である。今後、本町に合っ

た施設内容、施設規模等を検討しながら用地の選定や財源確保等に努める。

安富議員 町長は、移民資料を大量に収集してであると答弁された。その資料はどこにあるか。そこは資料館か。

町長 移民資料については、現物資料約400点、写真資料約750点を金武町教育文化センターに收藏整理している。なお、同教育文化センターは資料館ではない。

安富議員 當山記念館を修復元し、設立当初の目的、移民資料館、移民学習の場を復活させ、文化財の価値を温存すべきと思うが。

町長 教育委員会からの同記念館を町指定文化財として指定し、當山久三の業績や海外雄飛の里金武町を発信できる場として活用したい旨の要望がある事や、町民の意見等を踏まえ、総合的に判断したい。



池原政文 議員

灌漑用水ダム等の整備
事業について

後原付近にダムまたは
貯水池を整備する考えは

町長 米軍提供施設区域で
あり、厳しい

池原議員 伊芸地域の水田
では、水稲などの植え付け
時期になると、農家が農業
用水の確保に苦労されてい
る。農家が水に悩まず作業
を営むことができるよう、
農業用水を確保する施設の
整備が望まれるが、後原(ク
シバル)付近に灌漑用水ダ
ムまたは貯水池を整備する
考えはないか。

儀武剛町長 過去にキャン
プ・ハンセン周辺障害防止
対策事業において、水道水

と農業用水の確保を目的と
した多目的ダム建設が美徳
川上流の後原に計画されて
いたが、地主との用地交渉
が難航し、事業を断念した
経緯がある。また、後原付
近は米軍提供施設区域でも
あり、ダム建設等は大変厳
しいと認識している。

池原議員 水田里道沿いに、
灌漑排水施設を増設整備す
る考えはないか。

町長 伊芸地域における
水田への農業用水について
は、美徳川を水源として、
転倒ゲートを設置し、そこ
から用水路や農業用水管を
通って供給されているが、
水稲の植え付け時期には十
分な供給ができない状況に
ある。このような現状をふ
まえ、新年度、調査業務の
中で整備手法を検討し、対
応する。

灌漑(かんがい)
農地へ水を引くこと。

農道の整備について

親田原里道沿いの農道
拡張工事の進捗は

町長 売買契約の得られた
一部区間のみの整備
となっている

池原議員 親田原(ウヤタ
バル)里道沿いの農道拡張
整備工事が進められてきた
が、工事が中途半端で止ま
り、早期の整備が望まれる。
その後の事業計画の進捗状
況は。

町長 親田原耕作道整備
については、農家や区から
の強い要望があり、平成21
年度に地主説明会を開催し、
事業に対する賛同を得て、
実施計画を行い、平成22年
7月から用地交渉を行って
きたが、その中で4筆3人
の地主については、用地交
渉で売買同意が得られず、
売買契約の得られた一部区
間のみの整備となっている。

町としては、用地問題が解
決でき次第、順次整備を行
う。

池原議員 4筆3人の同意
が得られていないというこ
とで、区長をはじめ行政員
と頑張りてもらいたい。

池原均産業振興課長 ここ
は農道ではなく耕作道で、
受益者が限定されている。
町は用地買収に介入しない
となっており、区長も早く
了解を得られるよう努力す
ると言っている。その
結果を見て対応する。



親田原

バス停留所上屋の
設置について

町で上屋を設置する考えは

町長 今年度中に上屋整備
が完了する

池原議員 平田原(ヒラタ
バル)下り路線バス停留所
の待機所は、地元が設置し、
利用者の利便性が図られて
きた。老朽化により損傷個
所が多く、応急措置を施し
ている状況である。そこで、
改善の必要性があると思う
が、町で歩道沿いに上屋を
設置する考えはないか。

町長 平田原バス停留所
の上屋整備は、一括交付金
を活用し、11月に工事を発
注しており、今年度中に上
屋整備が完了する。

池原議員 この地域も入っ
ているのか。

上原浩総務課長 平田原バ
ス停の上屋についても、今
回の工事の中に入っている。



伊 芸 孝 議員

地域医療施設について

管理予定者の経営状況は

町 長 北部病院を経営し、単年度黒字経営となっている

伊芸議員 施設の管理運営

する予定の法人について、現在の経営状況をどう把握しているか。

儀武剛町長 地域医療施設

の管理運営をする法人は、医療法人ほくと会を予定しており、当法人は宜野座村漠那で北部病院を経営している。その経営状況については、直近の決算報告書によると、単年度黒字経営となっている。

伊芸議員 平成25年第7

回沖縄県議会において、ほとと会の経営状況について、いろいろ疑問があると質問しており、これとの関連性はどうか考えているか。

伊芸達博副町長 病院というの、医療法に基づき、知事権限となっている。質疑等について、県の動向を見ていきたい。

伊芸議員 経営状況は特に問題はないという認識でよいか。

森山朝男基地跡地推進課長

単年度黒字経営であり問題ないという認識。

伊芸議員 今後の施設の収支計画はどうなっているか。

町 長 医療法人ほくと会

より提出されている地域医療施設の収支計画において、3年目以降は黒字になっており、健全な運営が図られると思われる。

伊芸議員 この施設の経営

状況が悪化すれば、町民の負担になるという声が聞こえるが。

副町長 町からは運営費に

関する事はいっさい出ない。町民の負担になるという事はない。

伊芸議員 北部病院のほうで資金難に陥ったときに、地域医療施設のほうから資金が流れるのではないかと

副町長 ほくと会の中の地

域医療施設が、決算として町に報告となる。これについての監督というのはしっかりとしないといけない。地域医療施設で収益を上げ、北部病院の赤字を補填するという事は、おかしいという事で、これは決算の中でしか表れてこないの、十分に精査していきたいと考えている。

伊芸議員 運営スタッフ体制

はどうなっているか。

町 長 地域医療施設では

医師、看護師、社会福祉士、物理士、臨床検査技

士、薬剤師、管理栄養士、医療事務等のスタッフ体制

で運営を予定している。伊芸議員 他の病院との連携が必要と思われるが、その体制はどうなっているか。

町 長 地域医療施設では、

ガンの放射線治療を実施するため、琉球大学附属病院の放射線治療科、県立中部病院の放射線治療外来、北部医師会病院等と連携が図られるような体制となっている。

伊芸議員 具体的には。

基地跡地推進課長 地域医

療施設はガンの放射線治療が核となっており、今採用されている医師が、病院で金武町地域医療施設をアピール、講習会をし、患者の紹介等について情報交換をしながら連携できるような体制をやっていくという形で、医師のほうで県立の病院、大学病院、医師会病院等を訪問して連携体制を整

えている。

伊芸議員 医療機器の耐用年数経過後の機器整備はどのように考えているか。

町 長 地域医療施設に整備する医療機器の耐用年数は、おおむね6年から8年

となっており、医療機器の更新については運営者が行い、毎年、医療機器の減価償却分を新規機種購入に充てるために、内部留保として積み立てて対応する予定である。

伊芸議員 かなりの金額の

医療機器を導入しているが、使用可能年数を伸ばすために、メンテナンスが必要と思う。病院側との打ち合わせは十分されているか。

基地跡地推進課長 メンテ

ナンスが必要な機種については、メンテナンス料金を想定しており、必要でない機器については、修理で対応するという形で病院側と詰めている。



大城一之 議員

金武町子ども議会

について

課題は

教育長 当局答弁に対して再質問ができない

大城議員 開催状況は。

比嘉貴一教育長

子ども議会

会開会に先立ち、11月12日に中川小学校2人、金武小学校5人、嘉芸小学校3人、金武中学校6人の子ども議会議員へ当選証書交付したほか、議席の指定、正副議長の選出、一般質問のリリースを行った。開会日の11月19日には、町長はじめ町の幹部職員全員が出席し、一般質問に答弁し、その様子は、町の公共施設へ映像中継したほか、インターネッ

ト配信している。

大城議員 主な質問内容と答弁について伺う。

教育長 主な質問内容としては、運動場や体育館などの学校整備に関する事、不審者対策や登下校時における安全の確保、公園や町道の管理や整備、災害時の避難経路など大人には気付きにくい子供の目線から見た質問が行われた。町当局としては、金武町議会と同様に庁議を開いて答弁書を作成、町で実施可能なものについては、対処する旨答弁し、町で対応が難しいものについては、その旨説明を行っている。

大城議員 開催後の評価、および課題点について伺う。

教育長 評価については、概ね所期の目的を達成できたと考える。課題については、一般質問における当局答弁に対して再質問ができないことがある。

大城議員 所期の目的とは。

仲間光明学校教育課長

次世代を担う子ども達に、町づくりに関心を持たせ、町に対する質問や提案などの体験を通し、金武町議会の役割と行政の仕組みを学ばせることを目的としている。

大城議員 去年も課題にあ

げたと思うが、なぜ、再質問が難しいか。

学校教育課長

学校に、今年の6月定例議会のDVDを配り、再質問ができるよう指導をお願いしたが、なかなか浸透しなかった。



平成25年 金武町子ども議会

待機児童解消

支援基金について

金武町での利用計画は

町長 入所定員数を拡大するよう取り組み、それに伴い増える人件費に充てられるような計画を策定したい

大城議員 待機児童解消支援基金について詳細を伺う。

町長 市町村で運営する公立保育所の待機児童を解消するため、保育所の入所定員の拡大に伴う人件費への交付と市町村独自の待機児童対策に必要な事業への取り組みについて、市町村の財政負担の軽減を図る交付金となっている。

大城議員 金武町の待機児童について伺う。

町長 平成23年度には36人、平成24年度には37人、平成25年10月1日現在、26人の待機児童が発生している。

大城議員 待機児童解消支援基金の金武町での利用計画について伺う。

町長 本町における待機児童の解消を図るため、一部の保育所の入所定員数を拡大するよう取り組み、この入所定員数の拡大に伴い増える嘱託保育士等の人件費に充てられるような基金の利用計画を策定したいと思っています。

大城議員 町立保育所の待機児童解消のため増員し、それに対する交付金が出る。これを民営化すると、その交付金は使えなくなる。その対策はできているか。

町長 今回の基金は、公立の人件費に使います。一部が民営化になっても、公立の嘱託員はそのまま残り、基金の活用ができる。新たに民営化になる所は、民営化になった時の国の助成基金があり、それを受けてやっていく。



外間 慎 仁 議員

コンビニ交付 サービスについて

住民サービスの向上の観点から必要と思うが

町 長

今後、調査研究を行い検討する

外間議員 平成25年9月より、南風原町においてコンビニエンスストアにおける証明書の自動交付サービスが開始されているが、本町においても住民サービス向上の観点から必要と思うが、現状認識と今後の利活用について伺う。

儀武剛町長 町では、公民館などに設置する自動交付機の導入について検討した経緯があるが、費用対効果

の面から導入を断念した。コンビニ交付サービスについては、全国で76の市町村が導入されている状況がある。県内でも、南風原町において導入されており、今後、調査研究を行い検討する。

外間議員 コンビニ交付の場合、住基カードが必要と聞いているが、このメリットとデメリットを説明いただきたい。

金城健住民生活課長 住基カードは、身分証にかわるようなもので、免許証などを持っていない方たちには、大変貴重なカードです。デメリット的なものは現時点では見当たらない。

外間議員 住基カードを図書館の貸し出しや商店街のポイントに利用できるなど、いろいろサービスができるらしいが、その辺を検討しては。

住民生活課長 今年制定さ

れたマイナンバー法があり、これが平成28年から29年にかけて運用開始される。将来的には住基カードにかわる制度になっていくというのもあり、その辺を今後調査しながら検討していく。

外間議員 早目に時代の流れに遅れをとらないようにやってもらいたいが。

住民生活課長 町民の利便性が向上するよう、いろいろ研究調査し、町民のプラスとなるような行政に努めていきたい。

金武町ふるさと応援寄付金制度(ふるさと納税制度)の活用による特産品のPRについて

特産品をPRしては

町 長 先進地を参考に検討していきたい

外間議員 2008年4月30日より、ふるさと納税制度が施行されているが、

本町においてのふるさと応援寄付金制度の実施状況とそれを活用した特産品のPRについて伺う。

町 長 本町では、ふるさとに貢献、応援したいという方々のために、平成20年度から金武町ふるさと応援寄付条例を制定し、これまで26件、合計712万9134円の寄付を受けている。納税者への特産品の贈答については、商工会等と連携し、どのような方法があるのか先進地の事例を参考に検討していきたいと考えている。

外間議員 この中で、種類があるとと思うが、特に金額が大きいものを教えてもらいたい。

宮里安秀企画課長 ふるさと応援寄付金には6項目あり、その中で大きいのが、産業の振興という項目で、323万5000円となっている。

ふるさと応援寄付金制度について、税の減額と還付があるが、その内容を教えてもらいたい。

仲間理税務課長 ふるさと納税制度については、金武町に住所を有する者が、支援したいふるさとに対して寄付をした場合、2000円以上については町県民税の控除があるということです。

外間議員 ほかの市町村では、5000円以上だったり、1万円以上の寄付に贈答品をあげている。特産品のPRとして活用できると思うので、その制度を活用していただきたい。

企画課長 寄付金額に応じ、贈答品の特産品でやるということがあります。町もそういう先進地の事例等を参考にし、今後検討していきたいと考えている。



仲間昌信 議員

バイオディーゼル燃料生産施設の建設について

町への説明はあったか

町長

事業の詳細な説明は受けていない

仲間議員

去る12月11日、

琉球新報の報道によると、金武にバイオ油田と大きな見出しではじまり、今月中にも藻の培養施設の建設を着工し、来春をめどに製油工場の整備を計画しているところがあるが、企業のトランスアルジ社から金武町への説明はあったか伺う。

儀武剛町長

去った12月10

日に、トランスアルジ社から表敬訪問を受け、概略の説明を受けたが、事業の詳細な説明は受けていない。

細な説明は受けていない。仲間議員 報道されてから、町はどういう情報収集を行ったか。

宮里安秀企画課長

県に開

発申請などが出されているか確認したが、まだ出されていない。町にもそういった申請関係が出されていれば調整をしていけるが、そういう事もない状況である。

仲間議員

知り得た範囲内

で、議会にもいち早く情報を知らせていただきたいが、

町長

企画課のほうで、

対相手と調整させたいと思うが、詳しい情報等があれば議会をはじめ、町民にお知らせできるような体制を今後とっていく。

ギンバル地域医療施設

について

他の医療施設と

競合しないか

町長

競合しない診療内容となっていない

仲間議員 地域医療施設が、

平成26年4月1日から事業が開催されるが、町内における他の医療施設がこれまでに地域医療を守り頑張ってきた医療関係者に、民業圧迫や町民の利用者の競合により、地域医療の崩壊が余儀なくされると、心配する町民の声があるが、町長の政治姿勢を伺う。

町長

ギンバルで開設される地域医療施設は、ガンの放射線治療を核とし、婦人科、眼科および人間ドックを中心とした検診業務等の診療を実施するため、町内の他の医療施設との競合はしない診療内容となっている。

仲間議員

来年4月1日オープンを目指しているが、進捗状況は。

町長

建設工事が平成25年10月に竣工し、平成26年2月までに医療機器等の備品が完備、平成26年4月に

開業予定である。

仲間議員 病院と診療所、クリニックの違いは。法的根拠を説明願う。

町長

医療法第1条の5

の規定において、病院は20以上の病床を有する施設、診療所は無床または19以下の病床を有する施設であり、地域医療施設は診療所となる。

仲間議員

経営主体は医療法人ほくと会か。決定した理由は。

町長

平成20年に金武町、内閣府、防衛省、沖縄県、琉球大学、県医師会等の代表で構成されたふるさとづくり整備事業推進委員会を開催し、地域医療施設事業計画を策定した。その中で、事業計画の採択要件として、運営予定者を定める必要と入院を必要とする患者にも対応が可能となる病床計画もあり、医療法人ほくと会と覚書を交わし事業を進め

てきた。

仲間議員 計画の外来診療は、どのような診療科目か説明願う。

町長

地域医療施設では、ガンの放射線治療を行う放射線科、目の診療やレーザー治療を行う眼科、検診業務およびガン医療相談を中心とした総合診療科、婦人科の設置を予定している。

仲間議員

機器の耐用年数

終了後の機器購入の負担、医療機器のメンテナンスは。

町長

医療機器の更新については運営者が行い、毎年医療機器の減価償却分を新規機種購入に充てるために内部留保資金として積み立てて対応する予定である。メンテナンスについては、機器ごとに運営者とメーカー側が契約する事となっている。金額は双方で調整して決定することになる。



崎浜 秀幸 議員

普天間移設問題
について

辺野古移設容認を

決めたことの所見は

町長 苦渋の選択であったと推察される

崎浜議員 県選出の国会議員5人が、選挙公約に反し、辺野古移設容認を決めたことをどう受け止めているか、町長の所見を伺う。

儀武剛町長 本来、政党とは共通の目的を持つものによって組織されるものであることから、党の公認を得た県選出の国会議員が党本部と統一見解を持つことが望ましいと考えており、双方の見解が食い違うことは、

有権者を困惑させることになる。県選出の国会議員5人は、各々の考えを持って

いると思われるが、普天間飛行場の辺野古移設を容認したことは、苦渋の選択であったと推察される。

崎浜議員 マスコミ等の世論調査によると、大多数の

沖縄県民は普天間移設を県外、国外と主張していることをどう思うか。

町長 普天間飛行場代替移設については、民主党政

権において、最低でも県外と発言したにもかかわらず、県内移設を表明し、県民の信用を失ったことが、世論調査の結果のあらわれだと思っている。

崎浜議員 これまで、金武町議会も町長も、普天間問題、辺野古移設に反対の立場を主張してきた。その後、

普天間の移設問題について、変化があるのか町長の所見を伺う。

町長 普天間の問題について、県内の情勢も変化しているが、政治は常に変化

があるものと認識している。政治とは、問題の解決を一步でも前に進めるべきだと思っ

基地問題と特定秘密保護法の関連について

基地から派生する

事件事故との関連は

町長 指定対象となるか詳細はわからない

崎浜議員 共同通信の世論調査によると、この法律に

対し「修正する」「廃止する」をあわせて82%のほ

るデータが示されたことに

対し、町長の所見を伺う。

町長 特定秘密保護法の成立が短期間であり、十分な議論がなされていないこ

とや、政府の国民に対する丁寧な説明がないため、国民が理解できていない結果

のあらわれと考える。

崎浜議員 今後、基地から派生する事件事故に対して、この法律がどのように関連

してくるのか町長の所見を伺う。

町長 特定秘密保護法に

対しては、特定秘密の指定対象になる情報が「防衛」「外交」「特定有害活動の

防止」「テロリズムの防止」

に関する情報となっている。現段階においては、基地から派生する事件、事故の事

案が特定秘密の指定対象となるのか詳細についてはわからない状況である。

移民資料館建設と

當山記念館について

町長 金武町に建設しては

町独自の資料館建設

に取り組む

崎浜議員 海外移民が始まって一世紀をこえる中、沖縄

県内にいまだ県立の移民資料館がありません。移民の歴史を考えると、金武町に建設する方が望ましいと思うが。

町長 平成6年度、平成8年度、平成12年度に文書

による県への要請と、平成13年度まで誘致に関する協議が行われた。しかし、県

は当時、県立移民資料館建設の構想はなく、移民資料展示コーナーを含めた国際交流情報センターを浦添市に整備する計画が決まっていたことから、町へ誘致が

できず、現時点においても県に同資料館の建設計画がないことから県立移民資料館の建設は困難と考える。

町では、沖縄海外移民発祥の地という特性を生かした町独自の資料館建設に向けて取り組んでいる。



嘉数義光 議員

中川地区と先謝原の
開発との関わりについて

中川区がどう変わって
いくと想定しているか

町長
雇用が創出されるこ
とにより、中川区の
人口増が想定される

嘉数議員 町が進めている

ギンバル訓練場の開発に、
地元中川区民は大きな期待
をよせている。他の区に遅
れを取っているが解消され
るという思いがある。特に
中川区が慢性的に抱えてい
るのが、小学校運営に関す
る教育環境問題である。こ
の開発を機に、これから改
善されることを切に望んで
いることに町はどのような
対策を考えているのか。地

元中川区が開発によりどう
変わっていくと想定してい
るか伺う。

儀武剛町長 ギンバル訓練

場の返還については、基地
経済の脱却、自立経済の確
立をめざし、地域医療やり
ハビリ関係施設、スポーツ
や観光関係等の計画を推進
してきた。その結果、野球
場が完成し、地域医療施設
やりハビリ関係施設が平成
26年4月にオープンを予
定しており、ホテルについ
ても運営予定者が決定され
るなど、各施設において雇
用が創出されることになっ
ている。このような施設等
において、雇用が創出され
ることにより、中川区の人
口増が想定され、住環境の
変化や教育環境の変化、ま
た、商業施設等の整備など
により、活力ある地域づく
りができるものと想定して
いる。

嘉数議員 20年前と現在

の中川の人口の推移はどう
どうなっているか。

金城健住民生活課長 20年

前、平成5年度が人口73
3人、当時の町の人口の比
率で7.3%。現在、11月末
の人口は904人、町の人
口の比率では7.9%となっ
ている。

嘉数議員 中川区に3つの

町営団地を造った意図を説
明できるか。

宝正徳建設課長 中川区に

は小学校もあり、人口増も
考え、当時計画したと思わ
れる。

嘉数議員 学校教育法の中

で、子供たちがどこで学ぶ
かということは学ぶ方々の
権利としてあり、中川から
嘉芸小学校に通っても仕方
のないことだろうと思うが、
中川小学校が複式学級にな
らないように考えてほしい
と思うが、この状況という
のは把握しているか。

仲間光明学校教育課長

中川小学校については、
学年によっては複式になる
可能性のある学級もある。
そのことについては、毎年、
学校基本調査の中で児童数
を数えているので、認識し
ている。

嘉数議員 町営団地を3つ

も建設したということであ
らず増えてきたことは事
実であるが、中川小学校は
複式学級から抜け出ること
ができない状況である。だ
からこそ、ギンバルの開発
に期待している。地域医療
施設などやホテルは、住宅
などを建てるのか。

森山朝男基地跡地推進課長

ホテル関係、医療施設、
りハビリ関係にも中川の実
情を伝えており、職員が居
住できるような体制を考え
てくれという要望はしてい
る。

嘉数議員 町有地の一角を

賃貸し、この会社に住宅を

つくっていただく、家族用
の住宅をつくらせていただく
と要望する考えはないか。

基地跡地推進課長 ギンバ

ルの中に町有地はあるが、
ホテル用地やサッカー場を
計画しており、社宅等の計
画はない。

嘉数議員 ギンバルの開発

について、あらゆるビジネ
スチャンスが潜んでいるが、
ギンバル産業推進プロジェ
クトチームというのを立ち
上げるべきと思うが。

町長 医療施設ができ、

ホテルができる。次のステッ
プに行くという意味からす
ると、役場主導よりも民間
主導でやっていただだけれ
ばと。しかし、そこに町と
していろいろな情報を提供
するということをやってい
きたいと思っており、そう
いう情報をもとに、民間で
何か新たなビジネスチャン
スを捉えていただきたい。



仲間 政治 議員

ギンバルの海没地の経緯について

ギンバル返還に伴う原状回復および金銭補償は

町長 国の方針として金銭補償が示された

仲間議員 ギンバルの軍用地返還に伴う土地の原状回復および金銭補償は解決済みとお考えか、町長の見解を伺う。

儀武剛町長 海没地については、これまで接収時の状態に回復するよう国へ求めてきたところ。このたび、

国の方針として金銭補償で方向が示され、その対応について調整している。

仲間議員 用地買収済みの

長浜地域と福花よりの海没地域の対応の違いを明らかにされたい。

町長 長浜地区、福花よりの海没地については、個人所有地のみ購入しており、

その他の海没地の契約は行っていない。長浜地区の整備計画については、町民が広く活用できる海岸整備が行えるよう調整している。

仲間議員 沖繩県における駐留軍用地の返還に伴う特別措置に関する法律、いわゆる軍転法が改正され、沖繩県における駐留軍用地の跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法に改正されたが、町は地権者に対し、法に照らして適切かつ有効に措置したか。

町長 軍転法に関して一次、二次に引き渡された地区においては、旧法に基づいて給付金の支給がされており、三次に引き渡された地区については、新法に基

づく給付金の支給を予定している。

購入面積と価格の変遷について

100年間の

財源裏付けは

町長 企業からの賃貸料、固定資産税

仲間議員 全面積の町有地との交換から全面積の有償買収、その後、一部買収と一部賃貸と変化してきたが、当初から今日までの変わり

ようは理解が困難であり、買収面積の変遷および買収金額の総額の変遷について、その背景を含めて伺う。

町長 平成15年の地権者意向調査においてアンケートを実施した結果、町有地と等価交換したい意向が多く、当初は等価交換で検討してきた。その後、補助金で用地取得が可能になり、平成22年度に購入予定面積

56万4381㎡、予算総額約27億8000万円の事業費で地主会と交渉を重ねたが、地主会からは億首ダム用地購入相当額が提示され、交渉に難航した。平成21年度に地主会と交渉の結果、個人所有地は全部購入、区有地は一部購入、一部賃貸で妥結し、最終的に36万581㎡、総額27億5000万円で購入した。

仲間議員 賃貸料と契約の内容がどうなっているか。100年間の財源の裏付けを求める。

町長 契約内容は、賃貸借の期間が100年。その賃貸料の財源については、企業からの賃貸料や固定資産税などが確保されることになっている。

町長 現庁舎の耐用年数が、約17年残っており、庁舎改築および移転については、現在のところ検討していない。しかしながら、現在、窓口業務が分散し、住民サービスに支障があるので、増築による対応を検討している。

役場庁舎の移転と雄飛の森の整備について

役場庁舎の移転の考えは

町長 現在のところ検討していない

仲間議員 役場庁舎の移転と雄飛の森整備について、住民サービス向上を図るためには、思い切って移転を

考えてはどうか。現在の敷地は金武町が誇る移民発祥地として整備し、記念館の修復と一体となる新たな移民資料館を建設してはどうか。

町長 現庁舎の耐用年数が、約17年残っており、庁舎改築および移転については、現在のところ検討していない。しかしながら、現在、窓口業務が分散し、住民サービスに支障があるので、増築による対応を検討している。

平成25年 第7回 金武町議会定例会

平成25年第7回定例会を、12月17日から12月24日までの日程で開催されました。各会計の補正予算や条例改正、工事請負契約などの議案が上程され審議を行った。一般質問には、9名の議員が登壇した。議決結果については、下記のとおりです。

第7回金武町議会定例会附議案件処理結果

件名	議決結果	件名	議決結果
平成25年度金武町一般会計補正予算(第4号)	可決 (賛成多数)	平成25年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決 (全会一致)
平成25年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決 (全会一致)	平成25年度金武町水道事業会計補正予算(第2号)	可決 (全会一致)
平成25年度金武町屋嘉地区簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決 (全会一致)	金武町税条例の一部を改正する条例について	可決 (賛成多数)
金武町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決 (賛成多数)	金武町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	可決 (賛成多数)
金武町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決 (全会一致)	金武町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	可決 (全会一致)
金武町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決 (全会一致)	金武町地域医療施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可決 (賛成多数)
金武町ヘルスケアセンターの設置及び管理に関する条例の制定について	可決 (賛成多数)	金武町フィッティングセンターの設置及び管理に関する条例の制定について	可決 (賛成多数)
金武町海洋療法児童リハビリセンターの設置及び管理に関する条例の制定について	可決 (賛成多数)	重要な公の施設の長期かつ独占的な利用について(金武町地域医療施設)	可決 (賛成多数)
重要な公の施設の長期かつ独占的な利用について(金武町ヘルスケアセンター)	可決 (賛成多数)	金武町公の施設の指定管理者の指定について(金武町フィッティングセンター)	可決 (賛成多数)
金武町公の施設の指定管理者の指定について(金武町海洋療法児童リハビリセンター)	可決 (賛成多数)	工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について(美徳川改修工事(1工区))	可決 (全会一致)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について(美徳川改修工事(2工区))	可決 (全会一致)	工事請負契約締結について(美徳川改修工事(3工区))	可決 (賛成多数)
工事請負契約締結について(美徳川改修工事(4工区))	可決 (賛成多数)	工事請負契約締結について(ウォーキングコース等整備工事)	可決 (全会一致)
団体営伊芸地区土地改良事業(農業用排水施設)の施行について	可決 (全会一致)	金武町道路線の認定について(町道金武244号線)	可決 (全会一致)
金武町道路線の認定について(町道金武245号線)	可決 (全会一致)	金武町道路線の認定について(町道中川31号線)	可決 (全会一致)
金武町長からの町有地原状回復を求める通知文書に関し経緯の調査を求める陳情	委員会付託		

沖縄県町村議会広報研修



1月30日(木)に自治会館において、沖縄県町村議会広報研修が開催された。

熊本日日新聞社NIE専門員の越地真一郎氏を講師に「伝わる作法～議員プレゼン力を磨こう」をテーマに研修を行い、議会広報クリニックにて、クリニック希望町村の広報誌を注意点や指摘事項の解説を行った。

沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会

2月20日(木)に南風原町立中央公民館において、沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会が開催された。

講師に、沖縄県企画部市町村課課長の儀間秀樹氏、沖縄県選挙管理委員会選挙班長の山城英昭氏、琉球歌劇保存会元会長・相談役の八木政男氏が招かれた。

儀間氏は「平成26年度市町村予算と行財政運営の課題について」、山城氏は「候補者等の寄付および有料広告等の禁止について インターネット選挙運動について」、八木氏は「うちな一ぐちの表現 あれこれ」をテーマに講演した。



傍聴案内

議会を傍聴してみませんか。

3月定例会は、3月4日(火)開会を予定しております。

日程は変更になる場合があります。決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。

詳細につきましては、議会事務局へお問い合わせください。

平成25年 傍聴者数

3月定例会	14人
6月定例会	12人
9月定例会	58人
12月定例会	26人
臨時会(3回の合計)	0人
合計	110人

過去5年間の傍聴者数

平成24年	187人
平成23年	122人
平成22年	65人
平成21年	54人
平成20年	61人

※傍聴者数は、延べ人数となっております。



金武町議会事務局

有線放送 8-2292 NTT 098-968-2292 FAX 098-968-6274